

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和2年3月9日（月） 18:10～18:40 きらめきB
構 成 員	(委員長) 辻川副院長 (副委員長) 目片副院長 (委員) 内科診療部長、薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 外科診療部長、石河産婦人科医長（欠） (外部委員) 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表 藤澤 浄光寺 住職 (オブザーバー) 院長 (事務局・書記) 管理課長
議 事 概 要	

(1) 前回申請課題(条件付承認)について

① 2019-35 申請者：荒木 貴光

課題名：「大腿骨近位部骨折患者における歩行能力と側方リーチテストの関連」
(別紙資料に基づき修正内容について報告)

(2) 申請課題について

① 2019-36 申請者：辻川 知之

課題名：「BIO 製剤とバルーン拡張術のコンビネーションによるクローン病狭窄コントロールの可能性」
(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：クローン病の腸管合併症の一つに狭窄があり、腸閉塞を生じた狭窄に対して狭窄部に潰瘍が見られるため再狭窄を生じやすく、バルーン拡張術を繰り返す必要があった。潰瘍治癒を促す BIO 製剤とバルーン拡張術のコンビネーションによって中長期の狭窄コントロールが改善されているかを検討。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・ オプトアウトにおける権利帰属について病院名の記載が誤っているため修正が必要。
- ・ 調査研究費についてはかかっていないため修正が必要。

議 事 概 要

② 2019-37 申請者：神田 暁博

課題名：「当院における大腸悪性狭窄に対する緩和的大腸金属ステント留置の検討」
(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：悪性大腸狭窄に対する自己拡張型金属ステント留置術が保険収載され、術前の狭窄解除目的および緩和治療目的に広く行われるようになった。当院における大腸ステント留置の現状について有効性や安全性および偶発症などを中心に検討。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・ オプトアウトにおける権利帰属について病院名の記載が誤っているため修正が必要。

(3) 次回開催日について

令和2年4月9日(月) 受託研究審査委員会終了後

以 上